読者の上谷さんからの投稿写真です。葉山湘南国際村からの景色です。手前は逗子アリーナ，江ノ島が見えて・・・富士山！！美しい富士山の姿に心洗われる思いがしました。ダイヤモンド富士は、近くの立石公園で見ることが出来ます。

紅葉台 新聞

第１１６号
２０２４年
２月１０日
発行人：関谷　孝

本の紹介「みずとはなんじゃ？」　かこさとし作

かこさとし氏は、絵本作家、児童文化研究者。1926年福井県生まれ。東京大学工学部応用化学科卒。工学博士。技術士（化学）。大学卒業後は民間企業の研究所に勤務しながら、セツルメント活動に従事。子ども会で紙芝居や幻灯などの作品を作り、59 年『だむのおじさんたち』で絵本作家の道へ。代表作に『からすのパンやさん』『だるまちゃんとてんぐちゃん』『どろぼうがっこう』など。『かわ』『海』『宇宙』などの科学絵本も多く手がけ、作品数は 600 点以上にのぼる。2008 年菊池寛賞、2009 年日本化学会より特別功労賞受賞。福井県越前市に「かこさとし ふるさと絵本館『砳（らく）』」がある。作品は 600 点余。2008 年菊池寛賞受賞、 2009 年日本化学会より特別功労賞を受賞。2018 年 92 歳で亡くなりました。最後の作品は「みずとはなんじゃ？」でした。

加古さんが文を書き、「鳥の巣」で有名な絵本作家の鈴木まもるさん（66）が加古さんの下絵を基に絵を描きました。水の性質や働きを分かりやすく説く内容で、加古さんの遺作です。

「あさ　おきて、かおを　あらう　みず。
うがいを　したり、のんだりする　みず。
みずとは、いったい　どんな　ものなのでしょうか？」

暮らしの中で出会う水を通して水の不思議な性質を知り、自然環境に目を向けるきっかけとなるような、科学する心をはぐくむ絵本は数少ないと思います。

加古さんは子どもが楽しみながら科学を学べる絵本作りの先駆者でした。かねて「身近でありながら特別な性質を持っていて、科学の入り口として、いいテーマ」と水に着目。文章を練り、下絵を描きためていました。しかし視力が落ち、3 月に編集者の提案で鈴木さんに絵を頼むと決めました。

鈴木さんは子どものころから加古さんの絵本が好きでした。自分の作品を贈って、ほめ言葉が並ぶ手紙をもらったこともあったそうです。編集者から連絡を受け同月末、初めて加古さんに会いました。見本を作成し、2 週間後に 2 度目の打ち合わせ。急ピッチで制作が進む中、加古さんは寝たきりとなり、間もなく最期を迎えました。この本は、加古さんが私たちに残した最後のメッセージのような気がします。「地球は青かった」というこんなにも豊かな生きものが住んでいる地球は宇宙から見てもとても貴重な存在です。その水は、命の源であり、しかも地球全体から見るとほんのわずかしかありません。命をつなぐ水は、生活にも欠かせません。今年は、そんな環境を考えるきっかけになればとこの本を紹介します。子供だけでなく大人にも読んでほしい本です。

粕谷和夫の観察日記

ニューイヤーカウントは、高月水田でした。新年の田んぼを歩くのはとても清々しいです。用水路の壁に**ホオジロ**のオスメスが仲良さそうに田んぼを見つめていました。このホオジロのオス、よく見ると尾羽が欠落していてなんともユーモラスでした。

日中の暖かい日差しに誘われて、地元の浅川の河原を歩きました。直ぐ目についたのが、アカメガシワの冬芽。冬芽は春の芽吹きの頃まで待機している葉や花になる芽のこと。アカメガシワの冬芽は、細かい柔毛に覆われていた葉が露出して越冬する裸芽タイプ。写真をよく見ると細かい柔毛が隙間なくついていました。

💛絵本「冬芽合唱団」は、冬芽がひとの顔に見えます。

河口湖七福神巡りをしました。富士急河口湖駅が外国人でごった返していたのには驚きました。七福神は綾小路きみまろ氏が寄贈した「黄金の七福神」で、湖畔を散策しながら富士山の絶景、湖面にはキンクロハジロ、ホシハジロ、カンンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、オオバンなどがいました。

千葉県旭市の田んぼに越冬中のコハクチョウの観察に行って来ました。JR総武本線飯岡駅まで八王子から片道 4 時間近くかかりました。飯岡駅の北側に広がる田んぼをめがけて歩き出しましたが、冷たい北風を真正面に受けての歩行です。ハクチョウの群れを捉えました。そのころは霙も降り出し、体は凍てついてきましたが、ハクチョウに出会えた喜びですっかり暖まりました。ハクチョウを数えると100羽近くでした。

飯岡駅を歩きだしてすぐ、集落の中の田んぼでタシギとゴイサギに出合いました。ゴイサギは、用水路から体を出してくれたので、この写真が取れました。風のためカンムリ羽がすこし立っています。ゴイサギも寒そうな表情ですね。夜行性のゴイサギが昼間に出ることは珍しいです。❤️君たちはどう生きるかの鳥ですね。

紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」の HP に公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。